

## 「開会挨拶」

株式会社 MTI 代表取締役社長 石塚 一夫

皆さん、こんにちは。MTI の石塚でございます。2009 年から開催している弊社テクノフォーラムも、今年で 13 回目を迎えることとなります。今年も昨年に引き続きコロナ対策のためにオンライン開催といたしました。

今年の発表会テーマは、「安全・脱炭素への取り組み ～デジタル・エンジニアリングによるアプローチ」です。第 1 日目は、2 年目を迎えた日本財団殿との DFFAS 自律運航船プロジェクトを中心に発表します。本プロジェクトは今年の夏に、千葉県幕張にあるフリートオペレーションセンターで陸上統合試験を公開いたしました。そこではシミュレーションを徹底的に繰り返し、課題を早期発見することにより、来年 2 月の実海域実船による試験航行の成功が事前に担保されるような、シミュレーション技術を駆使いたしました。このアプローチはより安全な船舶運航へ寄与するものと考えています。第 2 日目は、GHG 削減のための色々な取り組みを発表します。ここで取り組んでいるデジタル・エンジニアリングによるアプローチは、脱炭素・新燃料利用船舶へのユーザー視点からの応用にも活かされるものと考えています。

このような全ての取り組みは、MTI が一貫して掲げている、ユーザーとメーカー、更には国内外の研究機関、船級協会そして国交省や日本財団とのオープンコラボレーションによって成立しています。この機会に改めて MTI の研究パートナー並びに支援者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

2 日間にわたるオンライン配信となりますが、何卒お付き合いのほどよろしくお願いいたします。

また今年の新たなメニューとして、MTI トピック紹介プレゼンを作成しました。これは一昨年まで MTI Forum の会場で展示していたパネルの代用として作成したものです。脱炭素、貨物輸送品質、物流センサー等の多分野にわたって、一つ 5 分程度のプレゼンを 12 個用意しました。ぜひ休み時間等にご覧いただき、こんなこともやっているのかと MTI の幅広い活動をお知りいただきたく思います。

末尾となりましたが、日ごろの皆様の MTI へのご関心、ご支援に厚く御礼申し上げて私の挨拶と致します。ありがとうございます。